

日山協遭対強度試験(検証)のご案内

2011. 7. 4

日山協遭難対策委員会

日山協遭対常任委員会ではクライミングやレスキュー技術で著名な人たちの出されている本や通説となっている技術、ロープ結束の強度等本当にそうなのといった素朴に疑問に思っていることを実際に自分達の手でセットし結束し自分達の目で見て、数値を出し確信を得たい。そしてその結果を発表し遭難事故の防止へ繋げたいと考え強度試験を行っています。

今年も下記日程で各種強度試験を行う予定です。興味の有る方は是非参加して頂きたく、またこんな試験もしてほしいと言ったご提案も頂きたくご案内申し上げます。

- ・日時：平成23年9月3日(土)10時開始、4日(日) 13時終了予定
- ・場所：立山町 「国立登山研修所」 TEL：076-482-1212
- ・費用：1泊3食 4000円（懇親会費込み）
- ・資格：実験に参画される方は4級程度の岩場を登れる方で、ヘルメット、登はん具などを持参お願い致します。見学の方は不要ですが、壁に近寄って見学したい方はヘルメット持参お願い致します。
- ・申込・問合せ：石田英行遭難対策常任委員まで
TEL：090-3052-8421 E-Mail：VZJ05635@nifty.com

昨年は国立登山研修所で大阪府岳連と共同で強度試験を開催し、

①流動分散の検証

流動分散時に一方のアンカーが破断した時、片方のアンカーへ大きな衝撃が掛かると言われていたがそうでは無い。との論文が大阪労山から発表され我々も検証してみる事にした。

②制動確保と固定確保

今まで確保と言えばアンカーや事故者へ負担の掛からない制動確保が主流で有った。しかし現在市販されているデバイスやロープ径の細さを考えると必ずしもそうでは無いのではと考え検証してみる。

③フィックスロープでのフリクションノットの検証

フリクションノットのメインロープとの相性や強度を試験。

④フィックスロープ(トラバース)通過時の滑落による各支点到掛かる荷重

フィックスロープ(トラバース)通過のさい、支点到間の角度を考えると滑落時に各支点到に大きな衝撃が掛かるのではと検証。

等を行いました。

以上